

平成 25 年度
公益社団法人 全国大学体育連合
収支予算

(平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日まで)

- 収支予算の編成に当たって
- 収支予算書
- 収支計算書総括表
- 貸借対照表総括表
- 正味財産増減計算書総括表

収支予算の編成に当たって

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

会費収入や利息収入の減少が予測される。収入に関しては、会員数の増加や賛助会費の増収を図るよう働きかける。また、民間補助金への申請および、スポーツ復興支援募金を実施予定である。支出に関しては、復興支援、調査研究の充実、60周年記念事業等を盛り込んだ予算案を作成した。支出に関しては、各項目について実績を確認し、多くの科目で前期に比して減額して計上した。

○ 収入について

1. 「年度会費収入」は、会員数の推移および前期（平成24年度）の実績から21,225,600円を見積もった。
2. 「賛助会費収入」は、200,000円を見込んだ。
3. 指導者養成研修会の受講料として600,000円を見込んだ。
4. 民間補助金収入としてスポーツ振興くじ助成金の決定額1,850,000円を含めた。
これは、3月に開催される指導者養成研修会への助成決定額のみであり、8月の全国研修会への助成額は含まれていない。全国研修会へも助成が受けられる見通しである。
5. 「寄付金収入」は、スポーツ復興支援（震災復興）募金として、300,000円を見込んだ。また、大学体育研究フォーラム補助金として100,000円の寄付を受ける予定である。

以上の結果、当期収入合計は24,455,600円となり、前期予算に比して約2,711,000円の収入減となった。これは、年度会費の収入減が予測されること、8月に開催予定である全国研修会に対する民間補助金が含まれていないことが主たる要因である。全国研修会に対する民間補助金（スポーツ振興くじ助成金）は、1,850,000円を見込んでおり、収入合計26,305,600円、前期予算額に比して861,000円の減額となる見通しである。

○ 支出について

①事業費

- 1) 一般運営費支出は、前期と比較して1,282,200円の減額となった。
 - ・「ホームページ作成費支出」「賃借料支出」「給料手当支出」「光熱水料費支出」「消耗什器備品費支出」は、従事割合および使用割合から事業費90%、管理費10%に配賦した。
 - ・「印刷製本費支出」「通信運搬費支出」「消耗品費支出」「雑支出」は、事務所における支出を事業費90%、管理費10%に配賦し、含めた。
 - ・「図書刊行費支出」は、隔年発行する調査研究報告書のため200,000円を増額した。
 - ・「論文誌「大学体育学」発行費支出」「表彰関係費支出」「大学体育資料作成費支出」は減額した。
 - ・「通信運搬費支出」「図書費支出」はそれぞれ減額の上計上した。
 - ・「会議費支出」「旅費交通費支出」は、各部委員会からの申請額の70%を目安として計上した。
 - ・「賃借料支出」は、事務所賃貸契約更新の年度ではないため90,000円を減額した。
 - ・「雑支出」は振込手数料増加のため9,000円を増額した。
 - ・「給料手当支出」は、時間外手当についてH24年度実績を勘案し減額した。
 - ・「研修会教材作成費支出」は前期実績から、今期は計上していない。
 - ・「復興支援費支出」は前期より1,015,000円を減額し計上した。
 - ・「総会講演会費支出」は前期と同額を計上した。
- 2) 研修事業費支出は、前期と比較して485,000円の減額となった。
 - ・全国研修会に関する支出を、「研修会補助金支出」と「研修会調整費支出」に分割した。
 - ・「全国研修会費支出」を485,000円減額して計上した。
- 3) 研究調査費支出は、前期と比較して132,600円の減額となった。
 - ・「印刷製本費支出」は、地域貢献推進ワーキンググループに関する費用として40,000円を増額した。

・「旅費交通費支出」「通信運搬費支出」「消耗品費支出」「研究調査雑給費支出」は減額した。

4) 支部補助金支出は、前期と同額の 3,300,000 円を計上した。

5) 国際交流費支出は、ICHIPER・SD 大会参加のため「海外研修費支出」に 300,000 円を計上した。また、「国際会議年会費」として、2 件分 (ICHER・SD、ICSSPE) 45,000 円を計上した。

6) 記念事業費支出は、60 周年記念事業として 2,980,000 円を計上した。

②管理費支出

・「給料手当支出」は、時間外手当について H24 年度実績を勘案し減額した。

・「会議費支出」は、役員推薦委員会が開催されないので、344,500 円の減額となった。

・「旅費交通費支出」は、役員推薦委員会が開催されないので、429,050 円の減額となった。

・「印刷製本費支出」「通信運搬費支出」「雑支出」は、若干の減額となった。

・「賃借料費支出」は、事務所賃貸契約更新がないため減額した。

・「諸謝金支出」は、公益法人移行手続きに関する用務が減少するため、80,000 円を減額した

・その他の科目については、前期と同額にて計上した。

○ 当期支出合計

予備費を除く当期支出合計は 30,301,650 円であり、前期の予備費を除く支出合計 30,707,600 円に比して 405,950 円の減となっている。

○ 当期収支の差

当期収入合計は 24,455,600 円、当期支出合計は 30,301,650 円であり、差引 5,846,050 円の支出超の予算案となった。

全国研修会に対するスポーツ振興くじ助成費収入 1,850,000 円を見込んでいること、60 周年記念事業費支出 3,000,000 円、スポーツ復興支援費支出 1,000,000 円を特別支出することを勘案すると、それらの合計は、5,850,000 円となり、本部のみの事業活動収支差額は、例年並みの事業規模としては 3,950 円の黒字予算と考えることができる。